

マイナ保険証利用によるトラブル・不具合 70%の医療機関で経験 会員アンケート（8月実施分）の報告

2024年11月8日
埼玉県保険医協会

【 保険証廃止を目前に控えた状況 】

2023年6月にいわゆる「保険証廃止法」が成立をした後にも、新たな問題が次々と浮上したために、8月に政府は「最終とりまとめ」を発表し、法の趣旨を大きく修正緩和するとした。「資格確認書」の発行要件、「資格情報のお知らせ」の新設にみられるとおり、マイナ保険証のみでは、国民皆保険制度の運用は困難であることが示された格好である。

政府は保険証の新規発行を今年12月2日以降は行わないとし、石破内閣でもこの方針は引き継がれている。しかし、マイナ保険証の利用率は低くシステムの信頼は低迷中である。そのため政府は保険証廃止を目前に控えながらもマイナ保険証利用率の引き上げ策に躍起である。患者や国民に向けて、今の保険証の有効期限の説明や、保険証が廃止された後にマイナ保険証を持っていないとも「資格確認書」が自動的に交付されること、マイナ保険証を持っていると以降はマイナ保険証でしか保険診療が受けられなくなることを説明はほとんどしてきていない。「資格確認書」そのものの説明も最近になって進められはじめたところである。

このような状況のまま時期が推移すれば、保険証廃止後に各患者の資格確認方法がどのようになるのか医療機関には問合せが多数寄せられることが見込まれる。しかし、保険証の廃止時期などは各保険証によって異なり、また、患者のマイナ保険証の所持の有無によっても異なるなど、説明事項は多岐にわたり、正確な説明は困難である。

本会では昨年5月、8月、12月とマイナ保険証システムに関する会員アンケートを実施しているが、今年5月以降の状況について、改めて会員調査を行った。

【 開業医アンケートについて 】

本アンケートは8月9日～30日に保険医協会が実施したもので、開業医会員を対象に利用状況、エラーやトラブル経験、12月から健康保険証を廃止することなどを設問としている。8月19日に中間速報を公表したが、集計の状況はほぼ同様となった。

同時期に全国の保険医協会が調査を実施し全国保険医団体連合会からも10月17日に集計が発表されているが、本県の集計結果と同様の結果が示されている。マイナ保険証を使用する資格確認システムは、全国共通して同じトラブル・不具合を発生し続けているといえる。

今年5月以降に「トラブル・不具合があった」としたのは72%と、依然として半数以上が経験している。昨年12月時調査が「72%」であったのと変わっていない。保険証が廃止された場合の受付業務についての予想では「受付業務に忙殺される」とする回答が56%と最も多く、「診察の待ち時間が長くなる」「スタッフを増やさざるを得ない」と続いた。利用状況の低迷にある現在でも、受付の手が取られるなど、システム利用に伴う実害は進展中である。

トラブル不具合への対処として最多は「健康保険証で資格確認をした」が67%、一旦10割負担を請求した事例については8%が「ある」と回答した。

12月の保険証廃止について、「賛成」するのは2%にとどまり、「賛成だが延期すべき」13%、「保険証は残すべき」85%と、二つを合わせると98%にも上った。健康保険証の廃止については、医療現場では賛同は得られていないことが示されている。

保険証廃止を求める声は、国民からも高まっていない。政府には保険証の存続を求めたい。

【 アンケート結果の全国比 】

埼玉県内の結果と全国の集計結果を比較したところ、「トラブル・不具合があった」としたのは埼玉72%、全国70%と、その他の設問でもほとんど同様の傾向となり、地域性は生じてい

ないことが分かった。

トラブル不具合への対処として、埼玉同様全国でも「健康保険証で資格確認をした」が78%と最多だった。「10割負担を患者に請求した」事例では、保険証を持参しなかったため確認が取れずやむなく請求した報告がある。少なくとも全国で78%の患者がマイナ保険証と合わせて健康保険証を持参していたことにより、資格確認を受けられている。全国的に健康保険証が慣れ親しまれているといえる。

12月の保険証廃止について「保険証は残すべき」と「賛成だが延期すべき」を合わせて埼玉98%、全国で88%と医療現場では保険証存続を求めている結果となった。

【アンケート結果の埼玉推移】

オンライン資格確認に対応する医療機関が増え、マイナ保険証の話題が出始めた2022年8月調査、カードリーダーの対応が始まって以降の2023年5月、8月、12月と、オンライン資格確認・マイナ保険証システムに関する会員アンケートのなかで、トラブル発生、保険証存続について尋ねている。

過去の推移を見ると、依然としてトラブル・不具合が発生しており、システムの不安定さがマイナ保険証への不信感に繋がっていると考えられる。健康保険証の廃止について、カードリーダー普及前は医療現場でも「よくわからない」状況だったが、普及後は「保険証を残すべき」とする回答が伸びている。

【リーフレットの作成について】

12月が近づくにつれ、保険証廃止後に各患者の資格確認方法がどのようになるのか、現行の保険証はいつまで使用し続けられるのか、今年の12月をもって使用ができなくなるのではないかなど患者からの質問は増加傾向となっている。この傾向は今後、飛躍的に増えていくことが見込まれる。

しかし、保険証の廃止時期などは各保険証によって異なり、また、患者のマイナ保険証の所持の有無によっても異なるなど、説明事項は多岐にわたる。そして説明に最も窮する要因は、説明の資材が政府から発表がされていないことだ。マイナ保険証の利便性を政府は繰り返し説明するが、多くの患者や国民の意向は従前どおりアナログの証書を使用することである。

本会では、患者に紹介する用のリーフレットを作製し、会員医療機関において活用をしているところである。

埼玉県保険医協会

県内の開業医師、開業歯科医師で構成し、会員数は4300人（24年10月現在）。

医科開業医の45%、歯科開業医の55%が加入する任意団体。（代表者＝理事長：山崎利彦）

健康保険証によって行う診療を保険診療といい、担当する医師を「保険医」という。

「保険医療の充実と改善により国民・県民医療を守る」「開業医の生活と権利を守る」の2つを掲げて、諸活動を行っている。保険医協会は全国各都道府県に設立されており、その連合体が全国保険医団体連合会（保団連）。10万7千人の医師・歯科医師が加入している。

埼玉県保険医協会 マイナ保険証・オンライン資格確認の トラブル調査報告

(1) マイナ保険証・オンライン資格確認の24年5月以降発生トラブル調査報告 ～埼玉集計と全国集計の比較～	2
埼玉集計（3）と全国（4）の調査結果を比較しています。 件数詳細	8
(2) マイナ保険証・オンライン資格確認のトラブル調査報告 ～埼玉推移～	9
埼玉の過去の調査結果をグラフにし、トラブルの発生割合と保険証存続に対 する意識の推移を出しています。	
(3) 埼玉県保険医協会 マイナ保険証・オンライン資格確認の24年5月以降発生トラブル調査報告	12
(4) 全国保険医団体連合会 2024年5月1日以降のマイナ保険証トラブル調査（最終集計）	19

【参考】

国民のマイナ保険証所有率 60%



マイナ保険証・オンライン資格確認の24年5月以降発生トラブル調査報告

～埼玉集計と全国集計の比較～

■回答数

<埼玉> 347件
アンケート対象数:3,415
回答割合:10%

<全国> 12,735件
アンケート対象数:67,112
回答割合:19%

◎埼玉県内の開業医会員を対象に行ったアンケート結果を、同時期に実施された全国各地の保険医協会の調査集計を比較してみた。

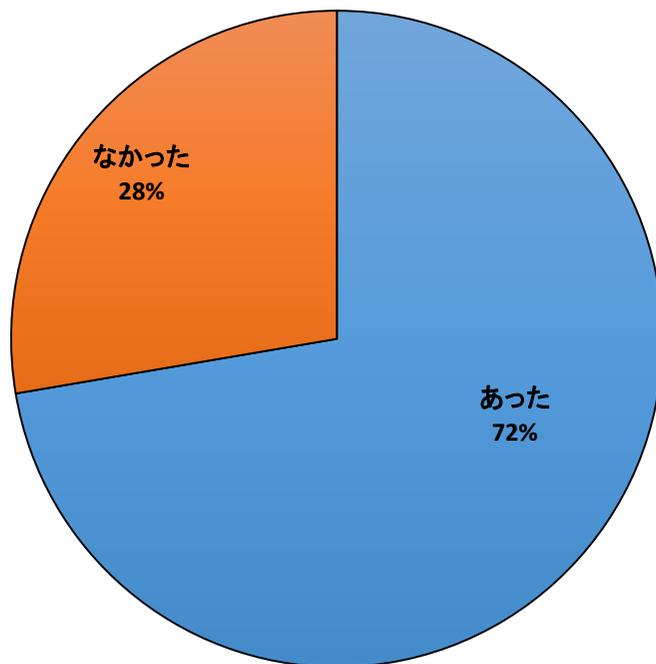
◎埼玉と全国でほとんど同様の傾向が示されており、地域性が生じていない点が大きな特徴といえる。

◎マイナ保険証のシステム(オンライン資格確認等システム)は、全国的に共通して脆弱性が指摘できる。

◎地域を問わず、医療機関全般でトラブルや不具合が発生している。

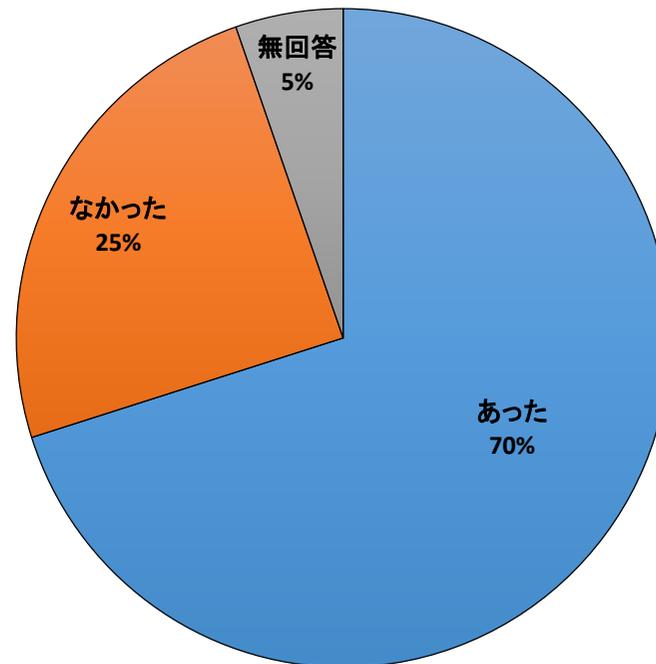
問1 今年5月以降のマイナ保険証、オンライン資格確認のトラブル・不具合は？

<埼玉>



	件数	割合
あった	251	72%
なかった	96	28%
合計	347	100%

<全国>

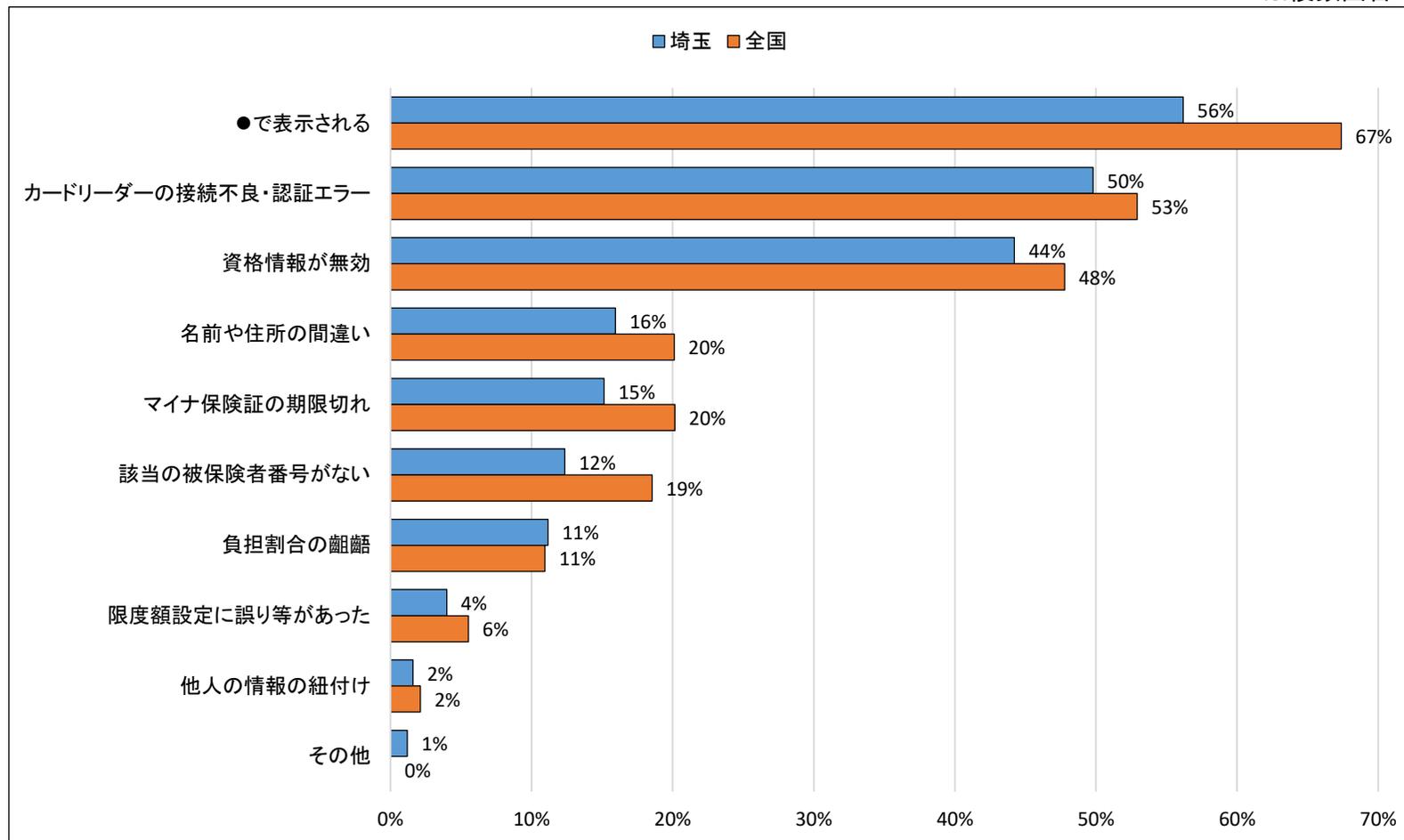


	件数	割合
あった	8929	70%
なかった	3128	25%
無回答	678	5%
合計	12735	100%

◎埼玉県内でも全国でも、7割の医療機関がトラブルや不具合を経験している。
◎地域を問わず、医療機関全般でトラブルや不具合が発生している。

問2 問1で「あった」という方、トラブルはどのようなものですか

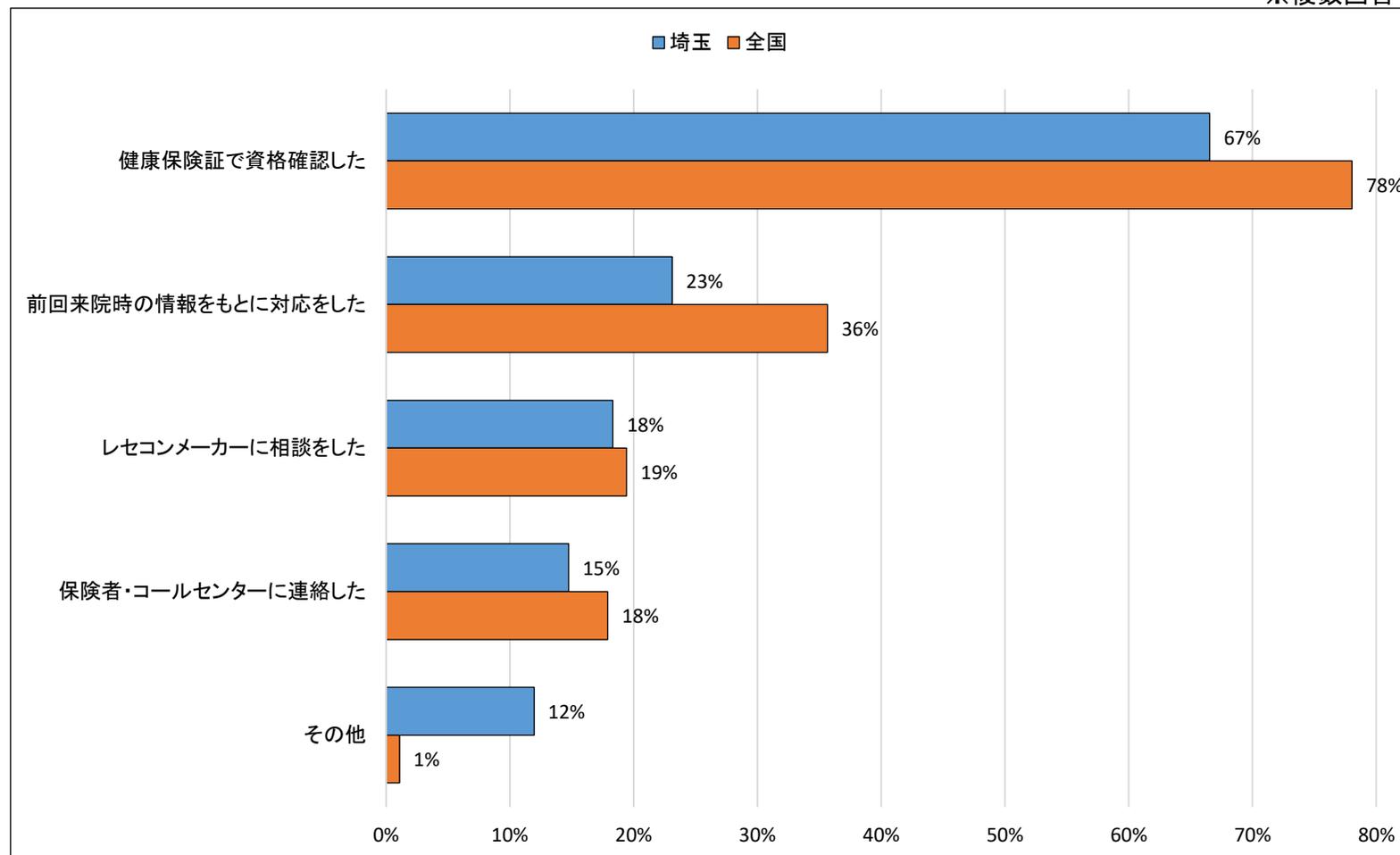
※複数回答可



- ◎トラブルの具体的な内容について、埼玉と全国では大きな違いは見られない。
- ◎半数を超える医療機関が、●で表示される、カードリーダーの接続不良・認証エラーを経験している。
- ◎マイナ保険証とカードリーダーの設計の脆弱性によるものが多い。

問3 トラブル・不具合についてどのように対応しましたか

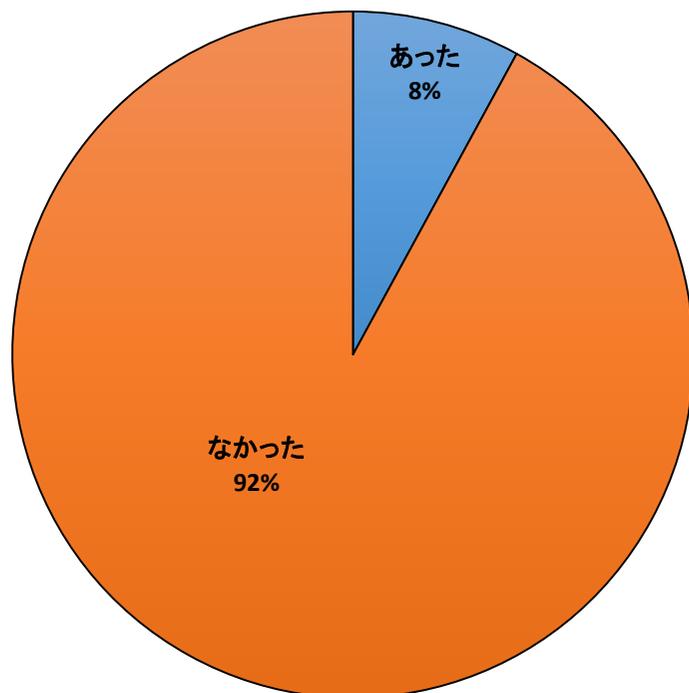
※複数回答可



◎健康保険証で資格確認をした回答が埼玉67、全国で78%と大多数。アナログツールによりバックアップされないと運用ができない。
◎前回来院時の情報をもとに対応をしている医療機関が埼玉20%超、全国で30%以上にのぼる。常連の患者にはこれまでの経過で対応している医療機関もあるが、初診の患者には適用できない方法。

問4 トラブル対応で「一旦10割負担を患者に請求した」事例はありますか

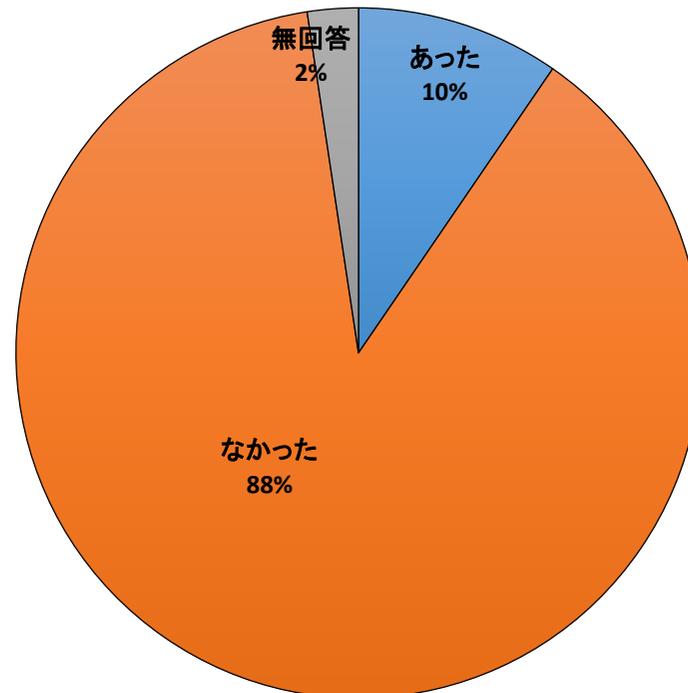
<埼玉>



	件数	割合
あった	26	8%
なかった	320	92%
無回答	1	0%
合計	347	100%

※無回答は少数のため円グラフに反映されていません

<全国>



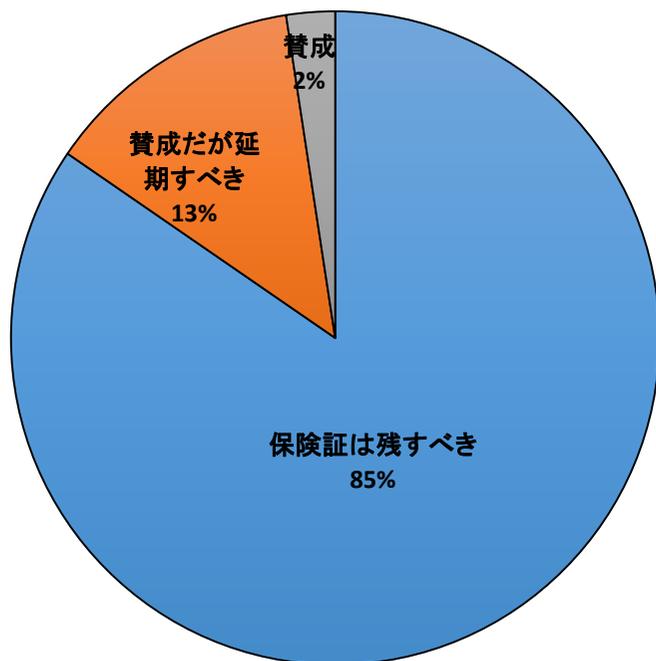
	件数	割合
あった	857	10%
なかった	7858	88%
無回答	214	2%
合計	8929	100%

◎10割負担を求めた事例は埼玉でも全国でも約1割ほどの医療機関で存在している。
◎問3での対応が叶わない場合に発生する。健康保険証が無くなれば、現場の混乱は必至。

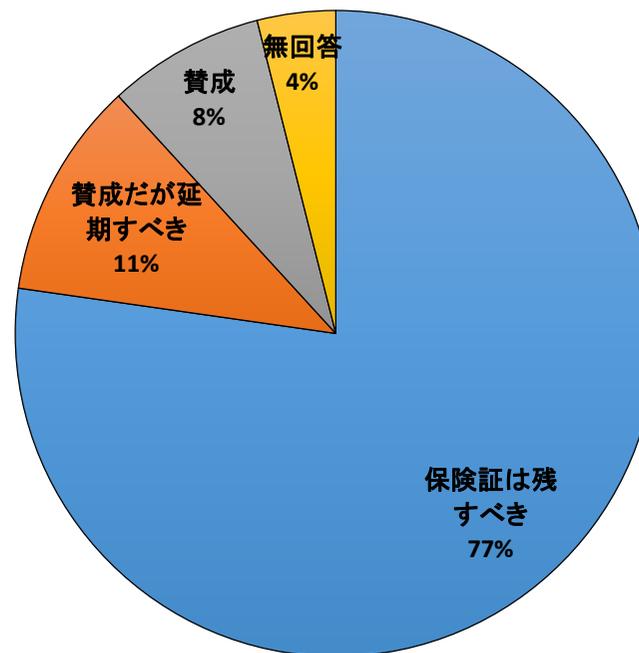
問5 今年12月2日の健康保険証の廃止について

<埼玉>

<全国>



	件数	割合
保険証は残すべき	279	85%
賛成だが延期すべき	43	13%
賛成	8	2%
合計	330	100%



	件数	割合
保険証は残すべき	9837	77%
賛成だが延期すべき	1388	11%
賛成	1007	8%
無回答	503	4%
合計	12735	100%

- ◎12月に保険証を廃止することに賛成するのは埼玉県内で2%、全国でも8%と少ない。
- ◎「保険証は残すべき」と「賛成だが延期すべき」を合わせて埼玉98%、全国で88%、医療現場では現行の健康保険証存続を求めている結果となった。
- ◎少なくとも現状では12月の廃止は拙速と言える。

■ 卷末掲載 件数詳細

問2 問1で「あった」という方、トラブルはどのようなものですか ※複数回答可

<埼玉>

●で表示される	141	56%
カードリーダーの接続不良・認証エラー	125	50%
資格情報が無効	111	44%
名前や住所の間違い	40	16%
マイナ保険証の期限切れ	38	15%
該当の被保険者番号がない	31	12%
負担割合の齟齬	28	11%
限度額設定に誤り等があった	10	4%
他人の情報の紐付け	4	2%
その他	3	1%
		n=251

<全国>

●で表示される	6017	67%	1位
カードリーダーの接続不良・認証エラー	4726	53%	2位
資格情報が無効	4266	48%	3位
名前や住所の間違い	1795	20%	4位
マイナ保険証の期限切れ	1799	20%	5位
該当の被保険者番号がない	1655	19%	6位
負担割合の齟齬	977	11%	7位
限度額設定に誤り等があった	493	6%	8位
他人の情報の紐付け	189	2%	9位
その他	0	0%	
		n=8,929	

問3 トラブル・不具合についてどのように対応しましたか ※複数回答可

<埼玉>

健康保険証で資格確認した	167	67%
前回来院時の情報をもとに対応をした	58	23%
レセコンメーカーに相談をした	46	18%
保険者・コールセンターに連絡した	37	15%
その他	30	12%
合計		n=251

<全国>

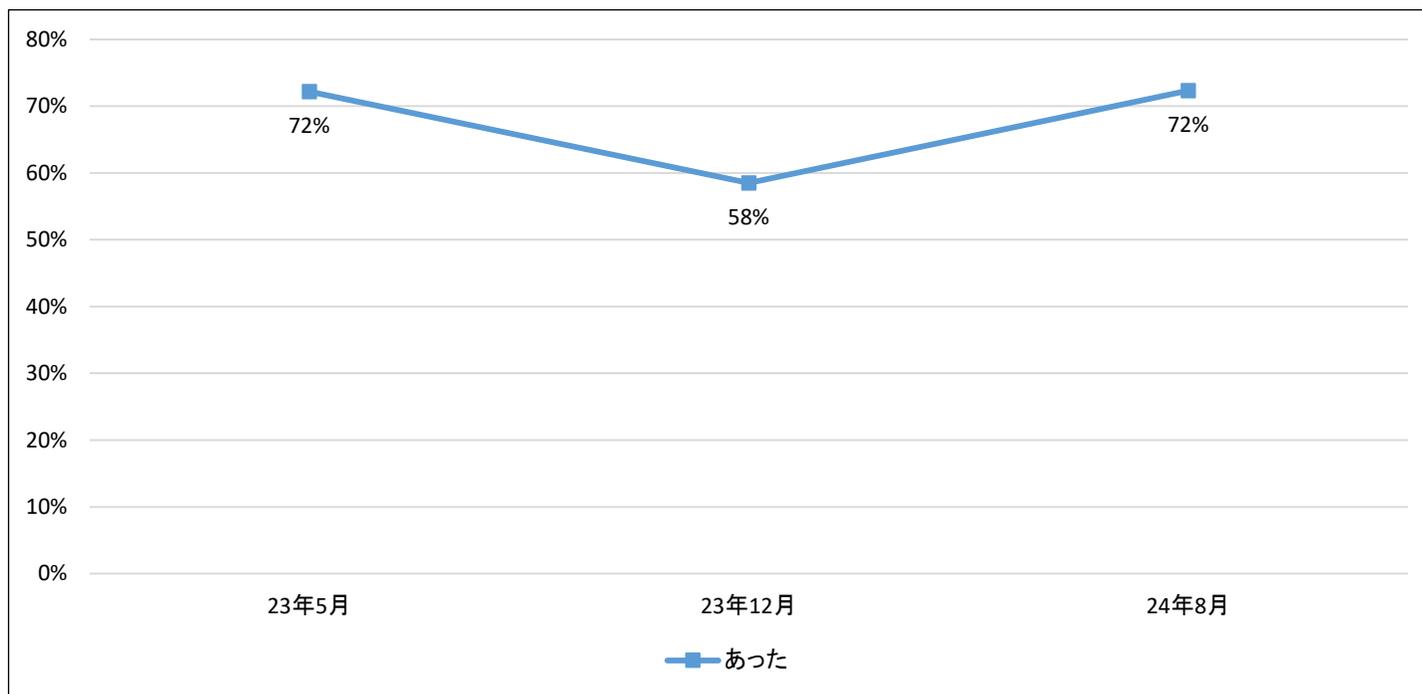
健康保険証で資格確認した	6967	78%	1位
前回来院時の情報をもとに対応をした	3184	36%	2位
レセコンメーカーに相談をした	1735	19%	3位
保険者・コールセンターに連絡した	1599	18%	4位
その他	97	1%	
合計		n=8,929	

埼玉県保険医協会

マイナ保険証・オンライン資格確認のトラブル調査報告 ～埼玉推移～

24年8月	調査期間 24/8/9(金)～8/30(金) 回答数 347件 アンケート対象数(開業医会員):3415 回答割合:10%
23年12月	調査期間 23/12/4(月)～12/14(木) 回答数 159件 アンケート対象数(開業医会員):3398 回答割合:5%
23年8月	調査期間 23/8/1(火)～8/10(木)、8/28(月)～8/31(木) 回答数 292件 アンケート対象数(開業医会員):3453 回答割合:8%
23年5月	調査期間 23/5/16(火)～5/19(金) 回答数 291件 アンケート対象数(開業医会員):3426 回答割合:8%
22年8月	調査期間 22/8/24(水)～9/9(金) 回答数 511件 アンケート対象数(開業医会員):3909 回答割合:13%

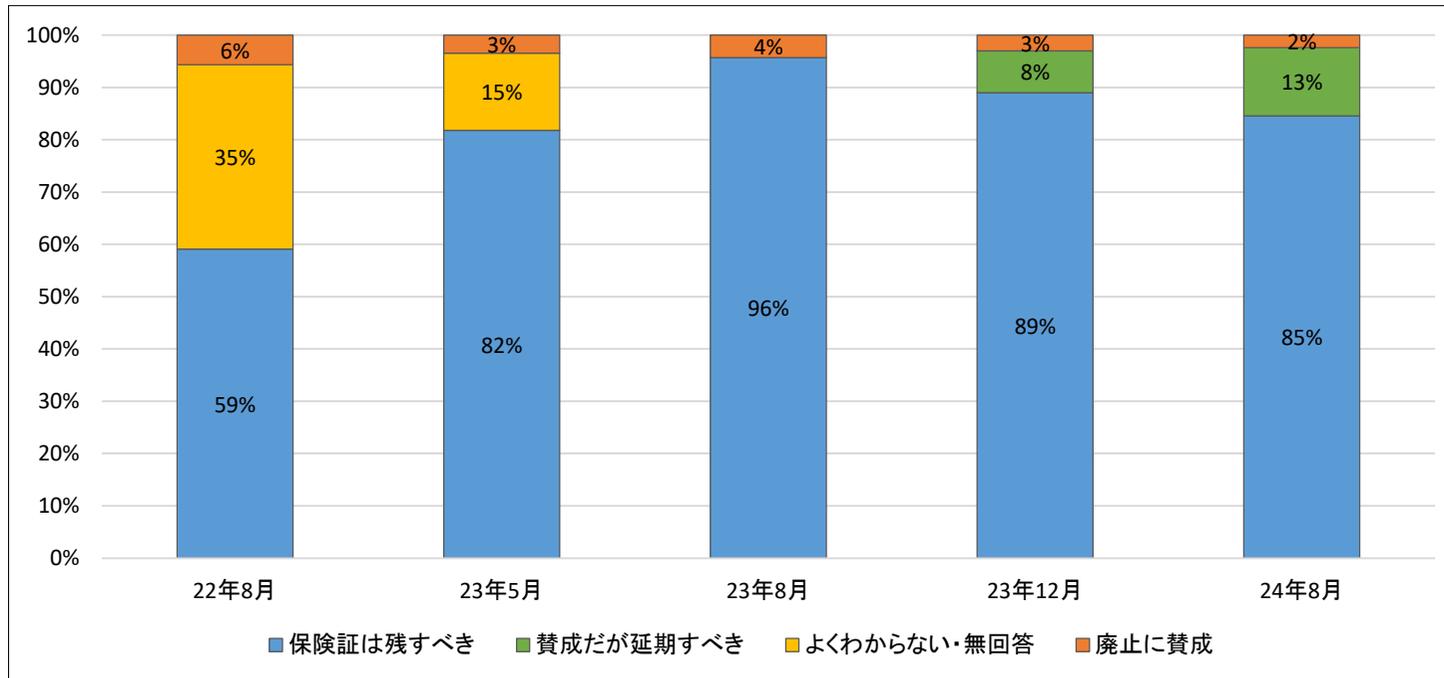
問1 マイナ保険証・資格確認に関するトラブル・不具合は？



	23年5月		23年12月		24年8月	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
あった	148	72%	93	58%	251	72%
なかった	57	28%	66	42%	96	28%
合計	205	100%	159	100%	347	100%

◎本設問による過去3回の推移をみたもの。
 ◎23年12月の割合の落ち込みは「マイナ保険証を利用する患者がいない」として回答するケースも目立った。マイナ保険証の利用率は、23年4月以来下がり続け、23年12月は最低を記録している。
 ◎23年5月の調査時は、カードリーダーを設置している医療機関は少なかった。

問2 健康保険証の廃止について



	22年8月		23年5月		23年8月		23年12月		24年8月	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
保険証は残すべき	302	59%	238	82%	268	96%	134	89%	279	85%
賛成だが延期すべき							12	8%	43	13%
よくわからない・無回答	180	35%	43	15%						
賛成	29	6%	10	3%	12	4%	4	3%	8	2%
合計	511	100%	291	100%	280	100%	150	100%	330	100%

◎保険証の廃止に「賛成」する割合は下がり続けている。
 ◎カードリーダーの設置が進んでいない23年5月までは「よくわからない」とする回答項目をおいたが、「保険証を残すべき」とする回答が伸びた。
 ◎トラブル不具合時に保険証の提示で代替している現状より、「廃止すべきでない」が高率になっている。

埼玉県保険医協会 マイナ保険証・オンライン資格確認の 24年5月以降発生トラブル調査報告

調査期間 24/8/9(金)～8/30(金)

回答数 347件

アンケート対象数(開業医会員):3415

回答割合:10%

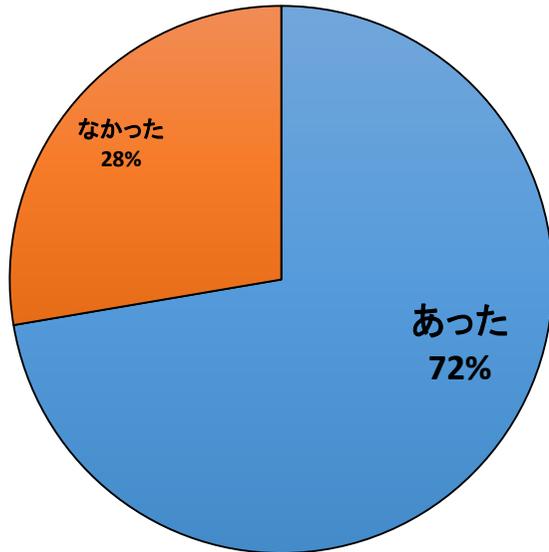
問1 所在地…省略(全員埼玉県のため)

問2 区分

医科診療所・病院	254	14%
歯科診療所	93	6%
合計	347	10%

問3 5月以降マイナ保険証・資格確認に関するトラブル・不具合は？

	件数	割合
あった	251	72%
なかった	96	28%
合計	347	100%

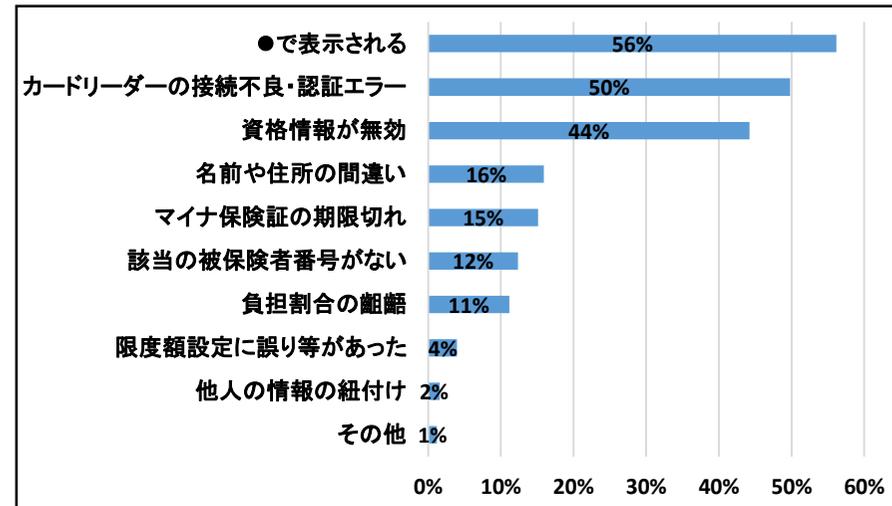


◎今年5月以降の状況でも、トラブルや不具合を経験している医療機関の割合は70%を超えた。
 ◎これまでの保険医協会による調査でも昨年23年12月58%、23年5月72%を示しており傾向は変わらない。

問4 問3で「あった」という方、トラブルはどのようなものですか。

※複数回答可

●で表示される	141	56%
カードリーダーの接続不良・認証エラー	125	50%
資格情報が無効	111	44%
名前や住所の間違い	40	16%
マイナ保険証の期限切れ	38	15%
該当の被保険者番号がない	31	12%
負担割合の齟齬	28	11%
限度額設定に誤り等があった	10	4%
他人の情報の紐付け	4	2%
その他	3	1%
		n=251



◎内訳で示されている原因は、システム上の不具合を修繕していないもの(●で表示)、総点検を終えて尚も生じるもの、カードリーダーそのものの不具合などによる。
 ◎こうしたトラブル、不具合は、現状では健康保険証の確認により解決している。「問6」参照。
 ◎マイナ保険証のみでは資格確認が困難である。

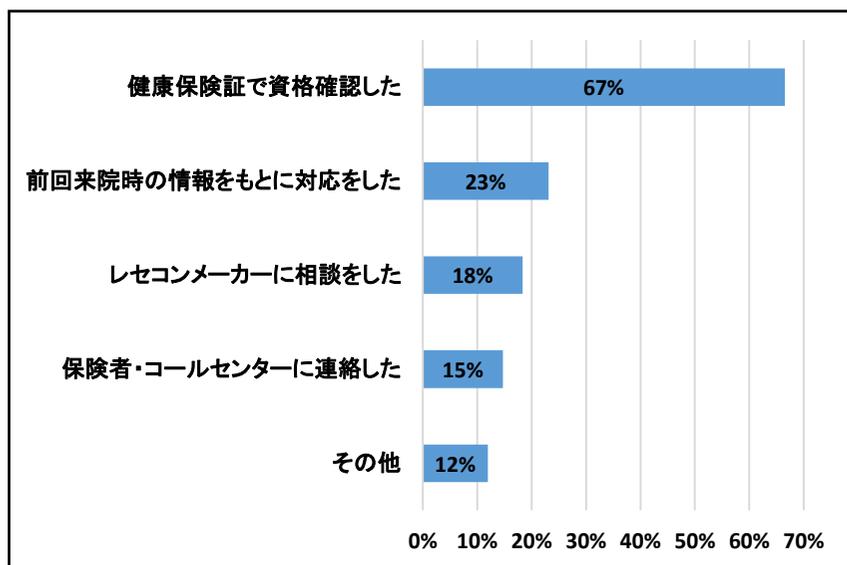
問5 トラブル・不具合の具体的な内容について教えてください。(抜粋)

- 行ったことのない住所が記載されていて他人の情報が誤入力された可能性がある。
- 突然ログイン出来なくなり、1h後位に回復した。
- そもそもマイナ保険証が結びついていない、それに気づいていない方もいる。
- 資格情報が表示されず、保険証を提示いただいた、有効期限が表示されないので、不明な中対応。
- 使用頻度が少ないので、使用の度、システムを立ち上げないといけない。
- ID、パスワード入力に時間がかかり、大変不便。
- 受給者証がマイナンバーとひもづけされていないため、入力の手間がかかる。
- オンライン資格確認と電カルがうまく連携せず、連携させるための操作、連携までに時間がかかることが
- 多々あり受付業務に支障が出ている。
- 急に接続不良になる。そうなると再起動しても半日(3~4時間)使用できず
- マイナンバーのみの患者さんの資格・保険確認ができない。
- カミナリの影響で数時間利用できなかった
- 資格確認のできない保険者がある。公務員なのになぜ？
- 自衛隊員は全員、オンライン資格に登録がない。
- ●の表示がかなり多い。
- カードリーダーのやり方がわからず、説明するのに人手が取られる。受給証が入らないためクレームを言われた。
- 保険者が資格確認システムとの紐付けができてないようで、会計ができなかった、土曜日は保険者が休みで確認がとれないので。
- ご本人確認の方が正しかった。資格無しが多い。
- 住所が違うことが何件かありました。小文字が大文字になっていました。新しい保険証申請中の患者様、以前の保険証が有効になっていました。
- 新しくなった保険証の紐付けされていない。
- 資格情報が出てくるまで待たされる(2回やり直してもらった)。待たされた間に保険証で確認済ませた後情報が来た。
- 顔認証がエラーになる人が何人かいた。
- こども医療受給者に、限度額・現役3割が登録されていた。
- カードリーダーを機械に通したら、電子カルテがフリーズしてしまい、復旧までに1時間以上かかり診療がストップしてしまった。

問6 トラブル・不具合についてどのように対応しましたか。

※複数回答可

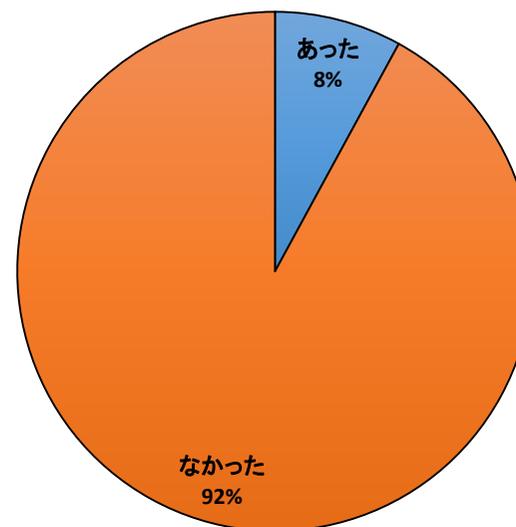
健康保険証で資格確認した	167	67%
前回来院時の情報をもとに対応をした	58	23%
レセコンメーカーに相談をした	46	18%
保険者・コールセンターに連絡した	37	15%
その他	30	12%
合計		n=251



◎健康保険証で資格確認をした回答が大多数。マイナ保険証と健康保険証の併用が必要な状況が一斉点検を経ても変わらず続いている。
◎前回来院時の院内に残っている情報も利用している。初診の患者にはこの方法は適用できない。

問7 トラブル対応で「一旦10割負担を患者に請求した」事例はありますか。

あった	26	8%
なかった	320	92%
無回答	1	0%
合計	347	100%



※無回答は少数のため円グラフに反映されていません

◎10割負担を求めた事例が少数だが現在も存在。1件が9人、2件が2人、3件が2人。(昨年12月は、1件が4人、2件が2人、3件が1人、不明が2人。)
◎やむを得ないケースになるが、生じている。「問8」参照。

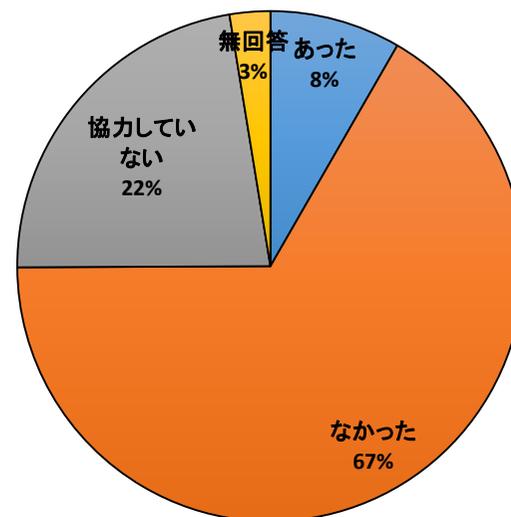
問8 「一旦10割負担を患者に請求した」具体的な内容について教えてください。(抜粋)

- 10割負担が不可能ということで診察を中止してお帰りになった。
- 患者の在職があいまいな回答があり、資格確認を行うもエラーであったため他に方法がない。
- 以前の保険証の情報のまま有効になっていたため、10割負担でのお支払いでお願いしました。
- 生活保護から後期高齢に変わった患者。保護の打ち切りから2カ月以上経っているにもかかわらず、後期高齢の保険情報が確認できなかった。
- 新患の方でマイナ保険証しか持参してなくて確認がとれなかったため、一旦10割負担でお願いしました。保険証を持っていなかった。
- 有効期限が切れています。の表示あり(1名)、(5年経過していないのに)
- カードリーダーで読み込みすると、市役所又は、社会保険に確認を、と出て情報を読み込めず、自費で会計した。
- 入社したばかりで保険証がなく、マイナンバーカードを所持していたが反映されてなく10割請求した。
- 資格情報が無効・該当保険者番号無しとのメッセージ出るも、新患である上に、土曜日来院で保険者に問い合わせも出来ずに、やむを得ず10割負担してもらい、後日返金した。
- 患者との信頼関係でやっているため、当日は会計せず後日請求する旨で、当日は帰宅してもらった。

問9 政府の「マイナ保険証利用促進集中取組月間」による患者とのトラブルがありましたか。

あった	29	8%
なかった	231	67%
協力していない	78	22%
無回答	9	3%
合計	347	100%

◎67%が「なかった」とする一方で、8%が患者とトラブルが「あった」とした。マイナ保険証利用の促進のための勧奨策は、利用率向上にほとんど寄与していない。
5月の利用率「5.87」、8月利用率は「12.47」で、1カ月で1.65%程度の効果であった。
◎22%は政府の取組自体に「協力していない」回答があった。

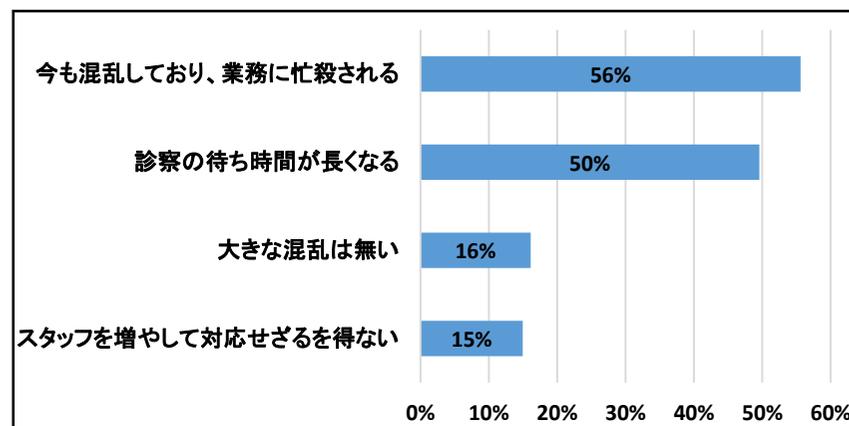


問10 政府の「マイナ保険証利用推進集中取組月間」について トラブルの具体的な内容について教えてください。

- 受付で患者から「何で健康保険証をなくすんだ」とクレームがあった。
- 毎回やるのが面倒くさいと保険証に変更する人が多々。
- マイナ保険証の機械操作がわからない方が多く、毎回対応しなくてはならないと業務の遅延が発生した。
- 患者より使用したくないと言われた。
- その方から診療がストップしてしまい、本人も申し訳なさそうにしていた。他の患者さんも待たせてしまった。
- 患者さんが持参された保険証とマイナ保険証の情報に相違がある場合に、そのように伝えると気分を害されてしまうことがある。
- マイナのトラブルが多数見られるため、保険証でも確認しているが、なんで「マイナ」、「保険証」どちらかだけじゃダメなのかよく聞かれる。マイナのみで安心できない。
- 小児は顔認証ができない場合が多い。暗証番号を間違えてしまう。目視というやり方を厚労省から問い合わせでアドバイスもらったがとても手間がかかる。
- もしマイナ保険証のみとなると受け付ける時点で大行列である。カードリーダーに入れて手続きするのに30秒～1分以上かかる。来院が少ししか来ない医院なら良いが、まず大混乱である。全く受け入れられない！！
- 紐付けされていなかった。顔認証が使えなくなることが度々あった。
- 患者さんからの「マイナ保険証は使いたくないのに」という苦情がある。
- 発熱外来できた患者さんのマイナ保険証を確認できない(カードリーダー)患者本人に近づけられない。暗証番号がわかっても、スタッフが聞くわけにいかない。

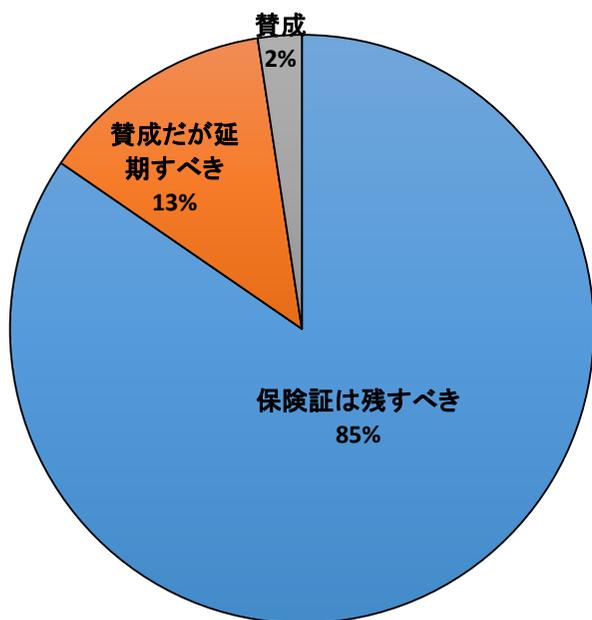
問11 保険証が廃止された場合、 受付業務はどうなると予想されますか

	※複数回答可	
今も混乱しており、業務に忙殺される	193	56%
診察の待ち時間が長くなる	172	50%
大きな混乱は無い	56	16%
スタッフを増やして対応せざるを得ない	52	15%
無回答	18	5%
その他	10	3%
	n=347	



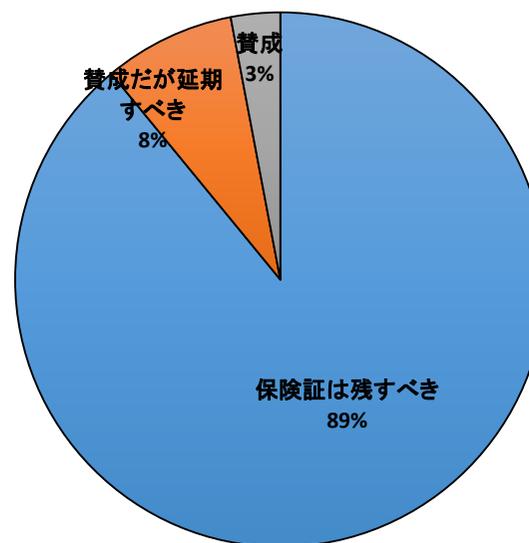
問12 今年12月2日の健康保険証の廃止について

	件数	割合
保険証は残すべき	279	85%
賛成だが延期すべき	43	13%
賛成	8	2%
合計	330	100%

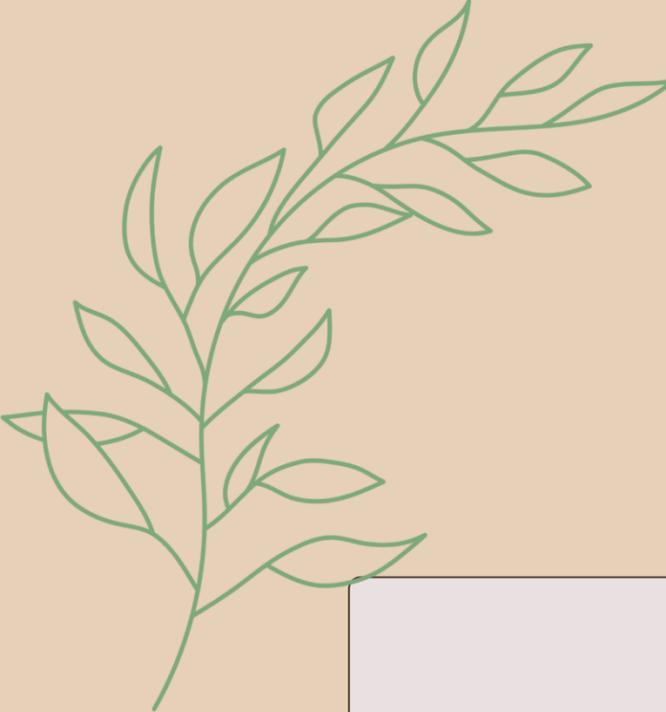


【参考】 昨年(2023年12月)の協会調査

	件数	割合
保険証は残すべき	134	89%
賛成だが延期すべき	12	8%
賛成	4	3%
合計	150	100%



◎12月に保険証を廃止することに賛成するのは「2%」と極めて少ない。
 ◎12月の廃止方針は、医療現場からは全く支持されていないといえる。
 ◎23年5月調査では「保険証は存続すべき」が85%。23年8月は「健康保険証を残す必要があるか」を問い、「必要あり」が96%を占めた。今回のアンケートは「保険証は残すべき」85%、「賛成だが延期すべき」13%を合わせて98%に達するため、健康保険証存続を求める声の割合が最多となった。



2024年10月17日 記者会見

2024年5月1日以降のマイナ保険証 トラブル調査（最終集計）



 東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館 5F
 <https://hodanren.doc-net.or.jp>
 03-3375-5121

01 調査概要

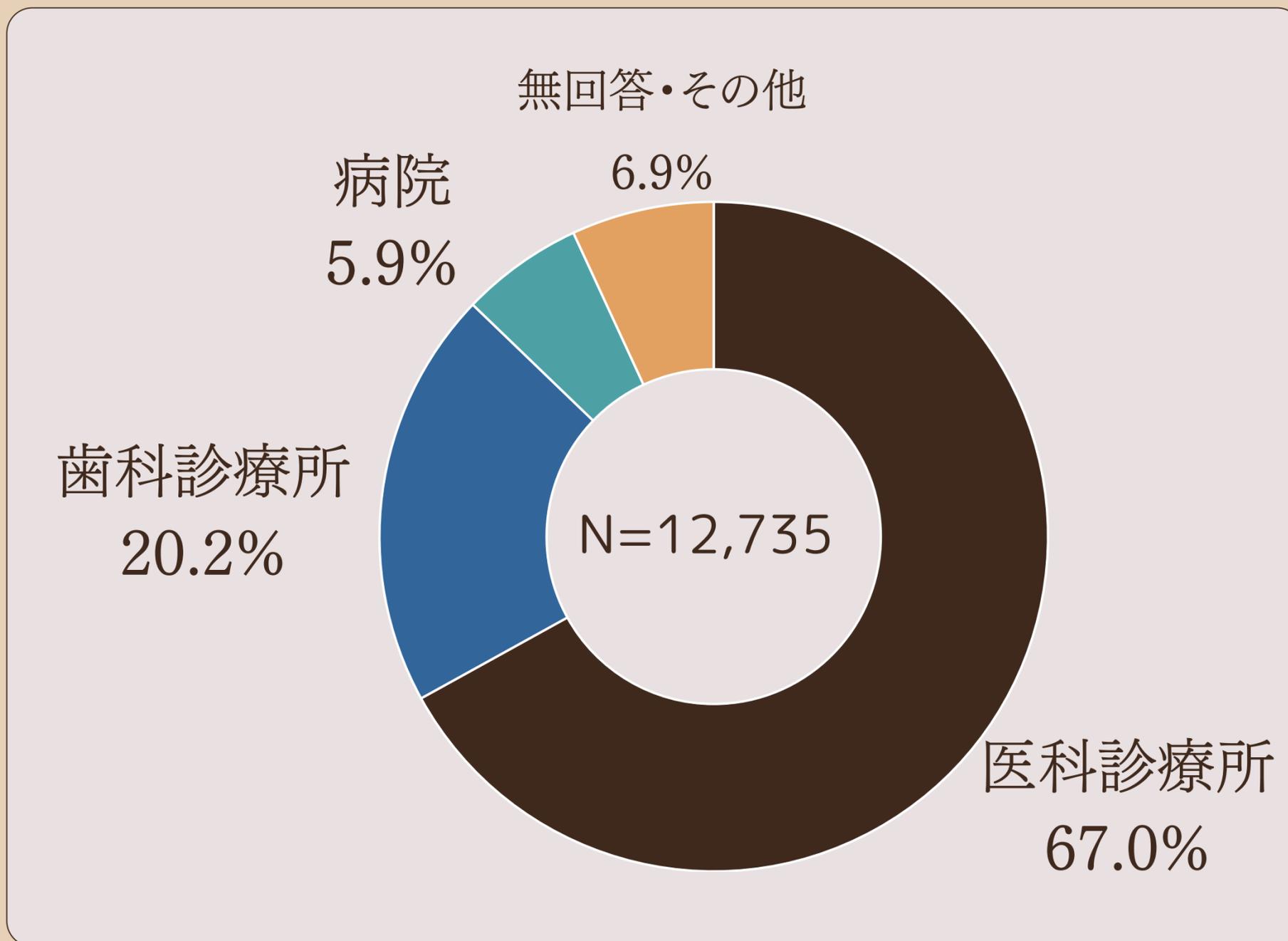
- 調査期間 - 2024年8月6日～9月30日
- 調査方法 - 保険医協会・医会が会員へFAXで送付
(保団連が一括集計)
- 送付件数 - 67,112 件 (39都道府県*)
- 回答件数 - 12,735 件 (回答率 19.0%)

*39都道府県 (43協会・医会)

(青森、岩手、宮城、秋田、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京[医科・歯科]、神奈川、山梨、新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都[医科・歯科]、大阪[医科・歯科]、兵庫、奈良、和歌山、広島、山口、徳島、香川、高知、福岡[医科・歯科]、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)

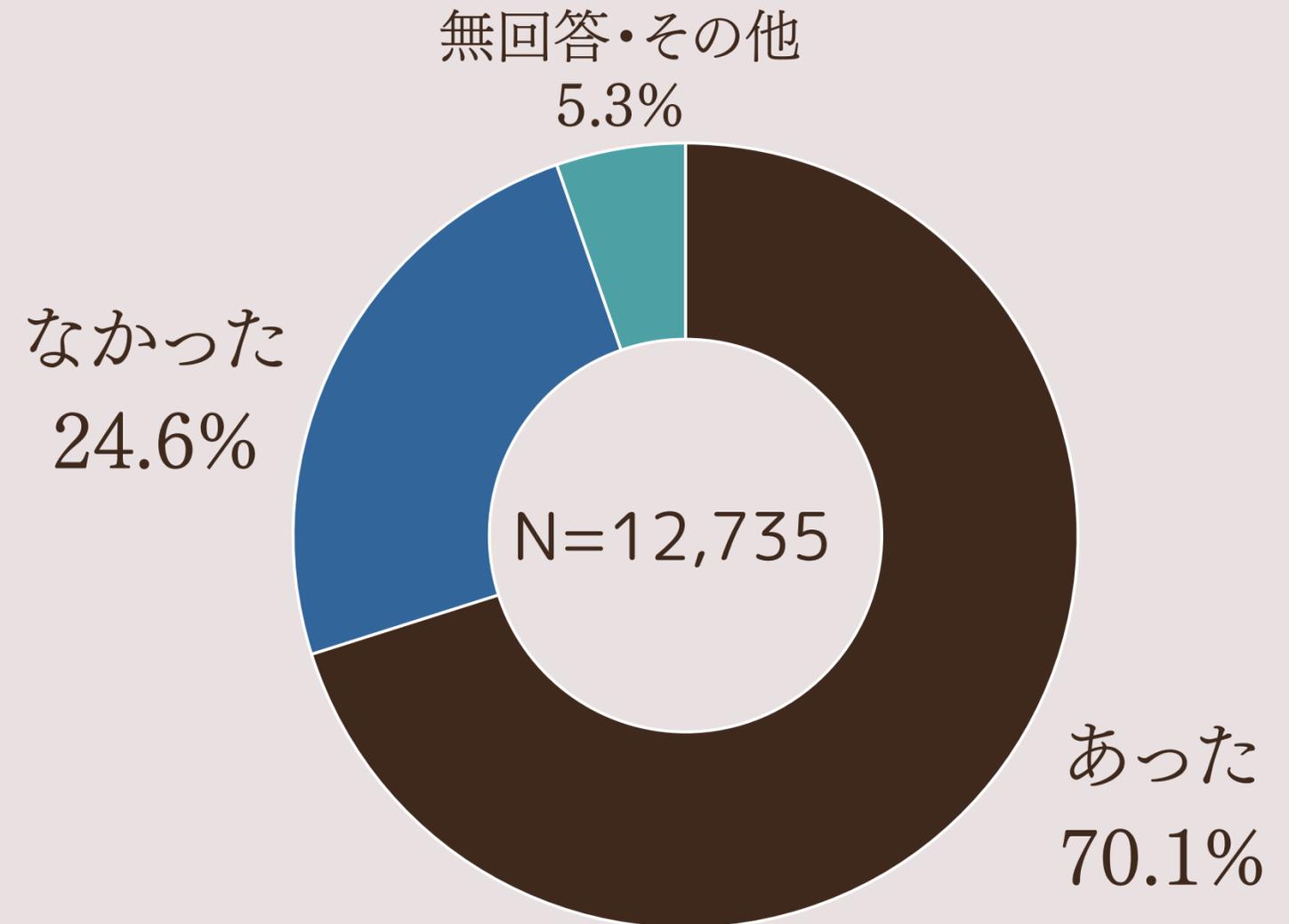
02 医療機関の区分

医科診療所	8,529
歯科診療所	2,574
病院	754
無回答・その他	878



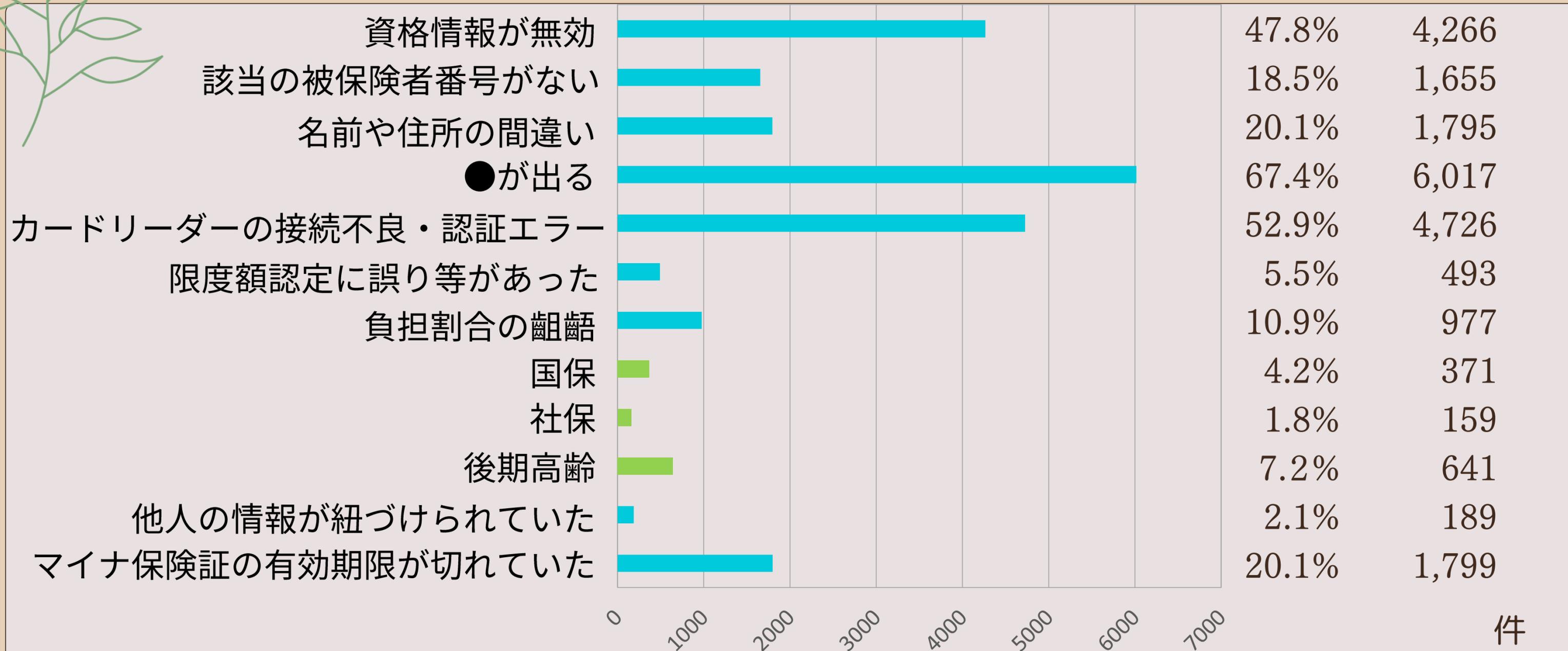
03今年5月以降のマイナ保険証、 オンライン資格確認のトラブル・不具合

あった	8,929
なかった	3,128
無回答・その他	678



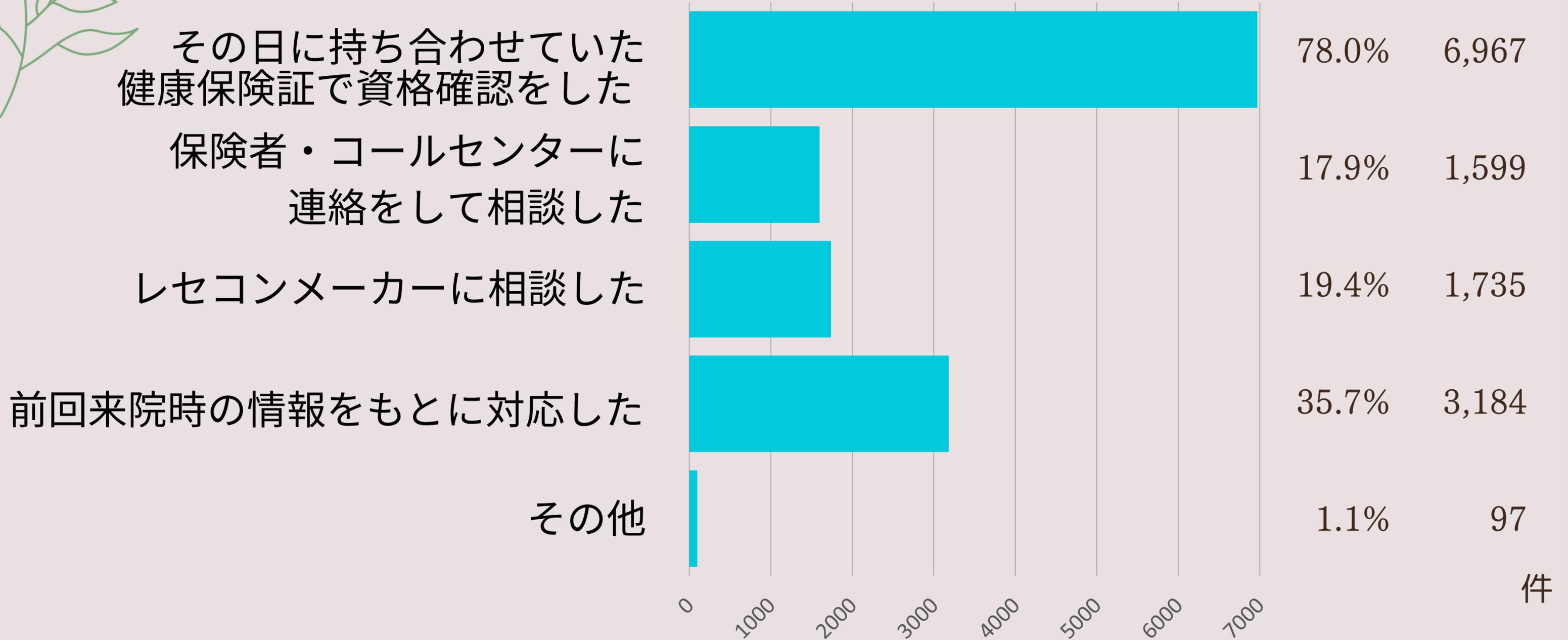
04トラブルの類型 「あった」と回答した医療機関（複数回答）

N=8,929
医療機関



05トラブル・不具合への対応 (複数回答)

N=8,929
医療機関



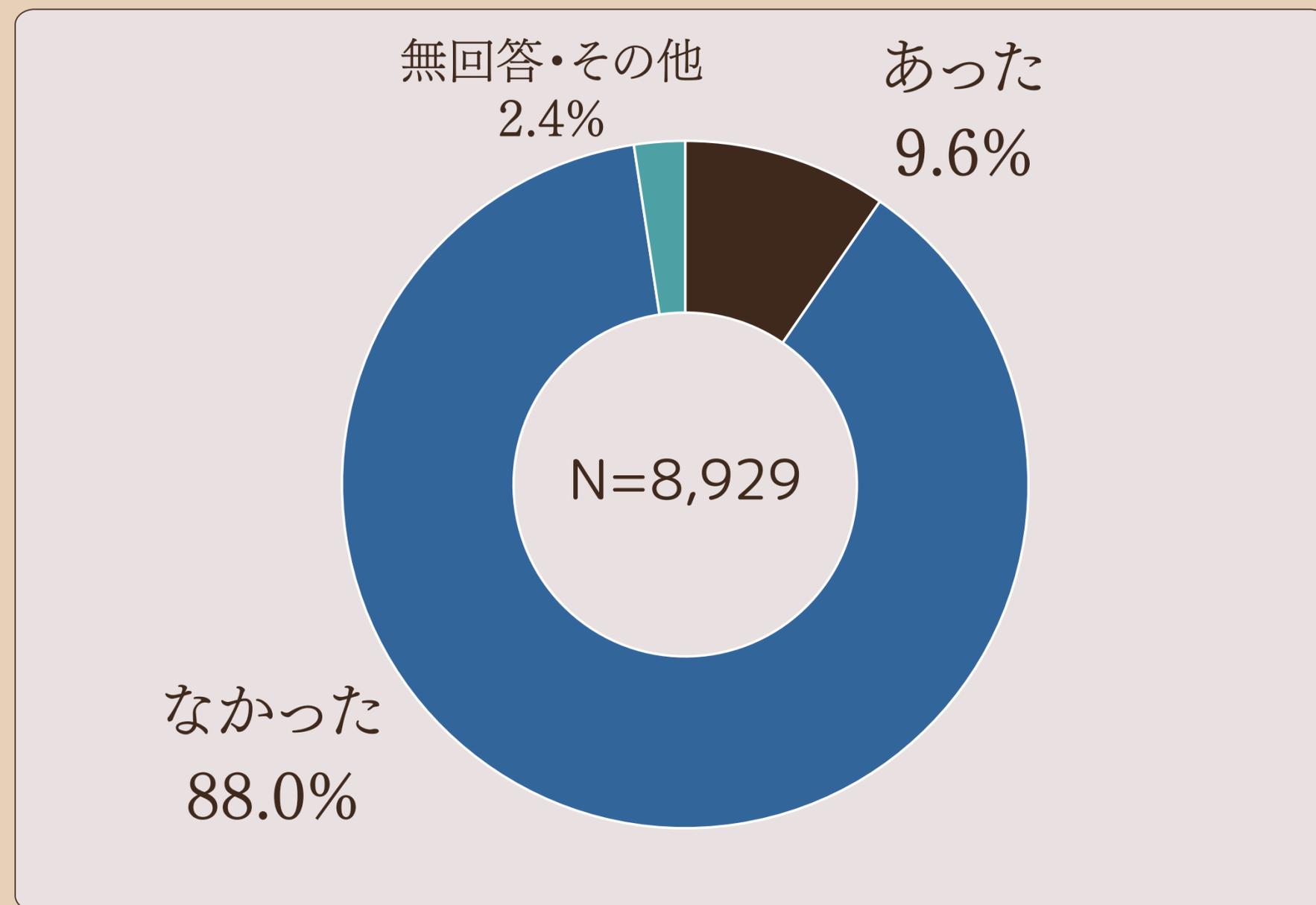
06トラブル対応で、 「一旦10割負担を患者に請求した」

あった 857

なかった 7,858

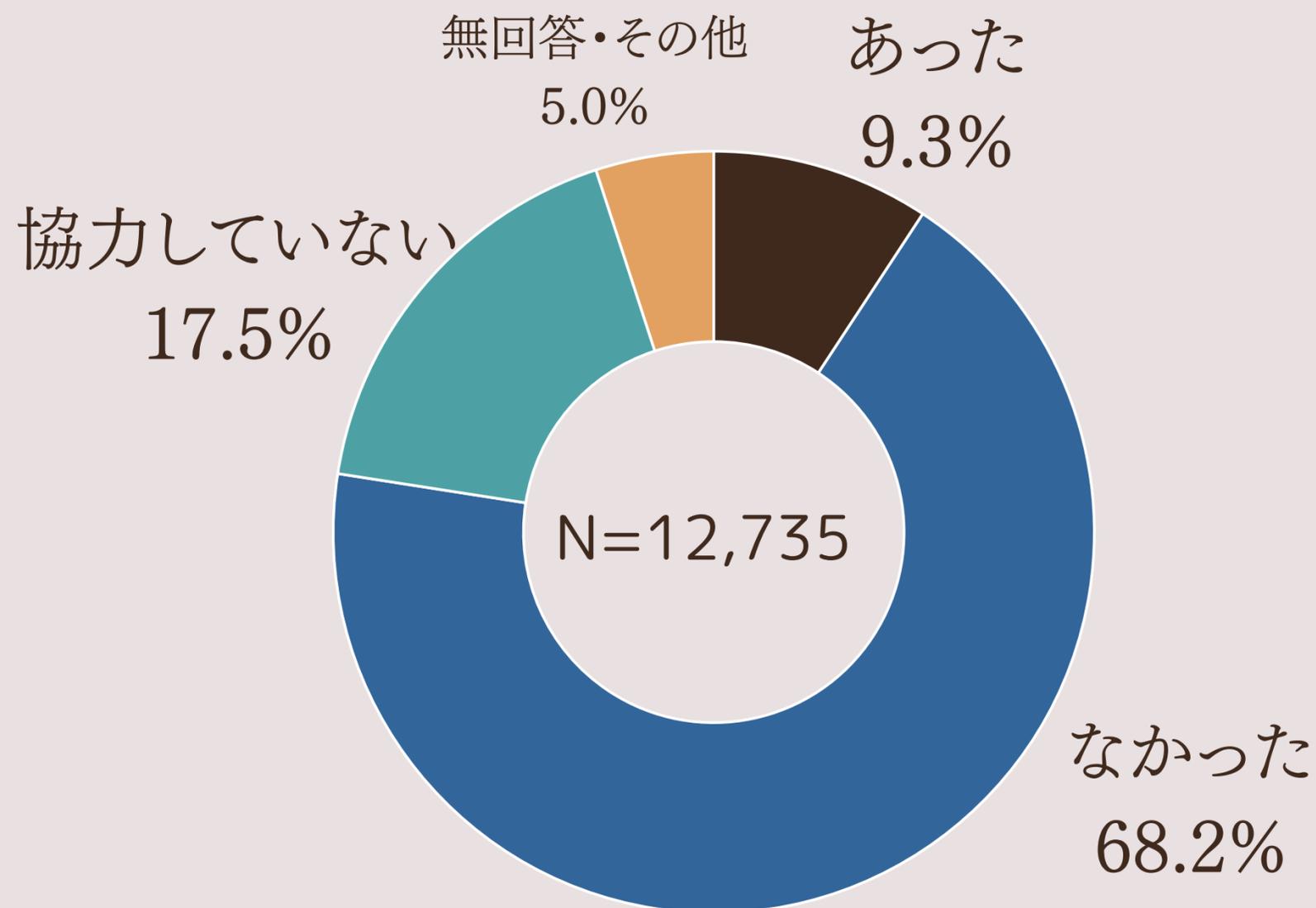
無回答・その他 214

※少なくとも 1,241件



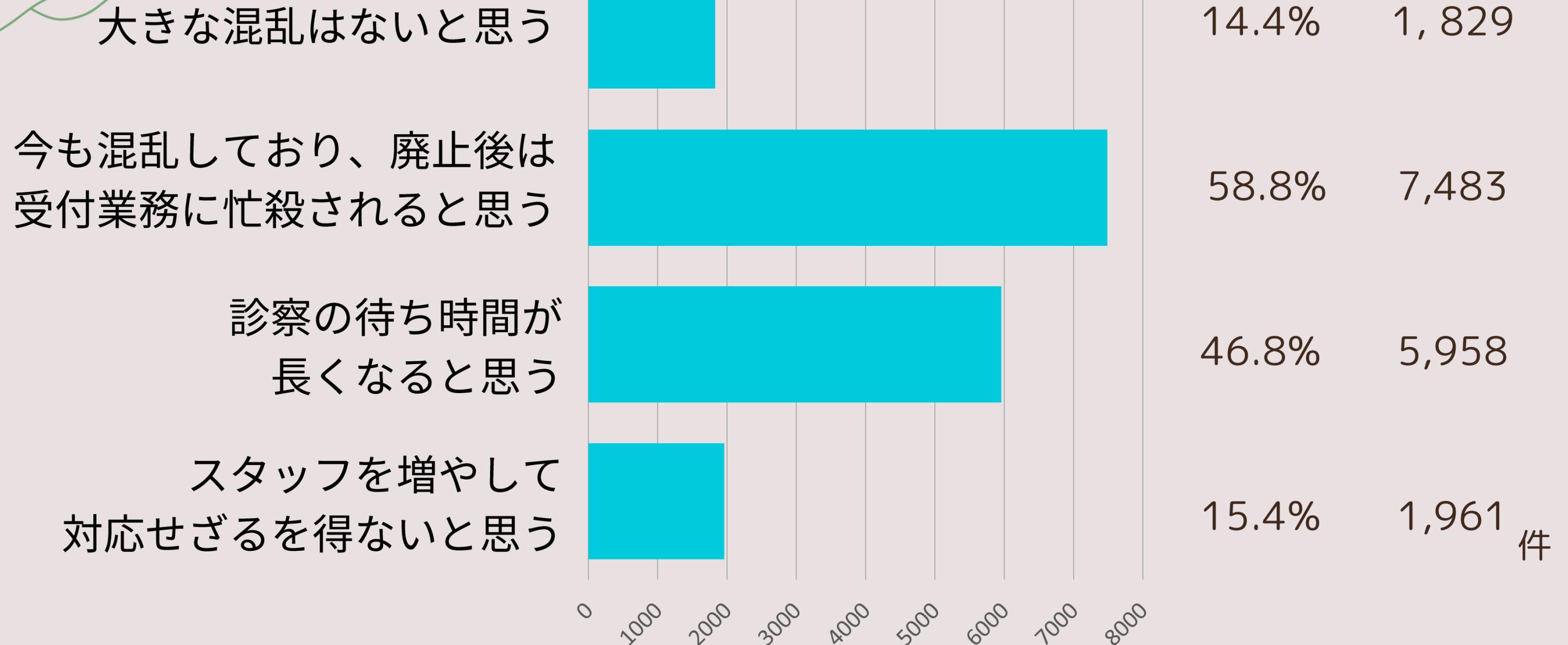
07 「マイナ保険証利用促進集中取組月間」について 利用促進による患者さんとのトラブル

あった	1,179
なかった	8,685
協力していない	2,233
無回答・その他	638



08 保険証が廃止された場合の受付業務 (複数回答)

N=12,735
医療機関



09 保険証が今年12月2日に廃止されることについて

賛成	1,007
延期すべき	1,388
保険証は残すべき	9,416
延期すべき＋保険証は残すべき	421
無回答・その他	503

